

口頭でのコミュニケーションに英語をメインで使用する

外資系ビジネスパーソン 823 人のアンケート結果

「集中して英語を学習した期間は 6 ヶ月以上」 約 6 割が回答

～役立った英語学習方法の 3 位に「オンライン英会話」も～

学習成果コミット型の英語コーチング・プログラム「TORAIZ」を提供するトライオン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：三木 雄信）は、口頭でのコミュニケーションを英語メインで業務をしている外資系企業に勤めるビジネスパーソンを対象に、効果的かつ現実的な英語学習方法を把握するためにアンケート調査を実施しました。

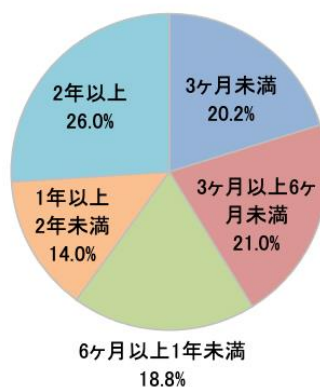
その結果、約 6 割以上が「集中して英語を学習した期間は 6 ヶ月以上」と回答しました。また、役立った英語学習方法として「国内の英会話学校」、「海外（英語ネイティブの国）での英会話学校」、「オンライン英会話」がトップ 3 を占め、アウトプット中心の学習であることがわかりました。

【アンケート結果サマリー】

■集中して英語を学習した期間は、6 ヶ月以上が約 6 割。2 年以上が最も多く 26 % を占める。

自宅学習、英会話スクールや留学など含めて今まで英語を集中して学習した期間は、どれだけですか？
（中学・高校・大学・大学院などの学校での授業での英語学習時間・外資系企業での業務での英語での会話やメールの時間を除く）

(n=823)

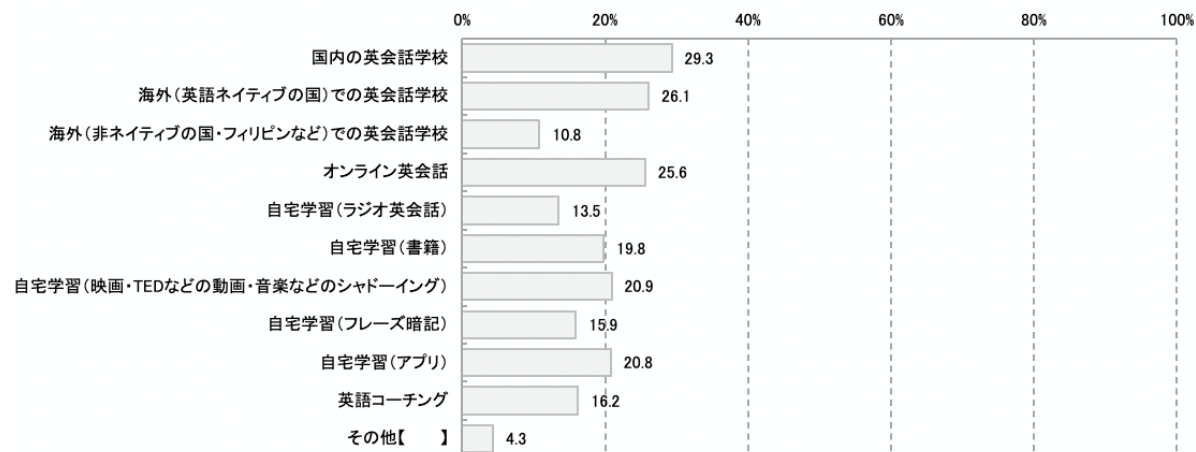


■効果的な学習法としては、「国内の英会話学校」、「海外（英語ネイティブの国）での英会話学校」、「オンライン英会話」などのアウトプット中心の学習がトップ3。

役立った英語学習方法は次のうち3つ選ぶとすればどれですか？（回答数3つまで）

※英語コーチングとは、受講生一人一人に合わせて、学習計画の設計や進捗管理を行い、英語学習をサポートする学習方法をさします。

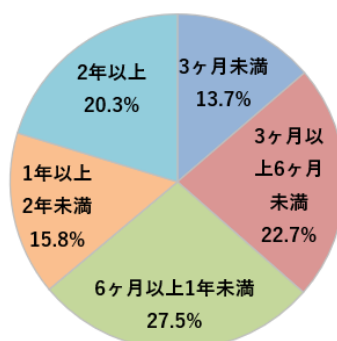
(n=823)



■TOEIC® Listening & Reading Test のスコアが 750 点前後の英語が話せない人が「外資系企業で働くためには、毎日 3 時間英語学習に取り組むとしてどのくらいの期間、英語学習に注力したら良いか？」への回答としては、6 ヶ月以上が 63.6%。

現在のあなたの過去の学習経験や知識と英語を使って仕事をしている実際の経験を踏まえた上で、もしあなたが、TOEIC® Listening & Reading Testスコアは750点前後で英語がほとんど話せない知人から「外資系企業で働くためには、毎日3時間英語学習に取り組むとしてどのくらいの期間、英語学習に注力したら良いか？」と聞かれたらどのように答えますか？

(n=823)



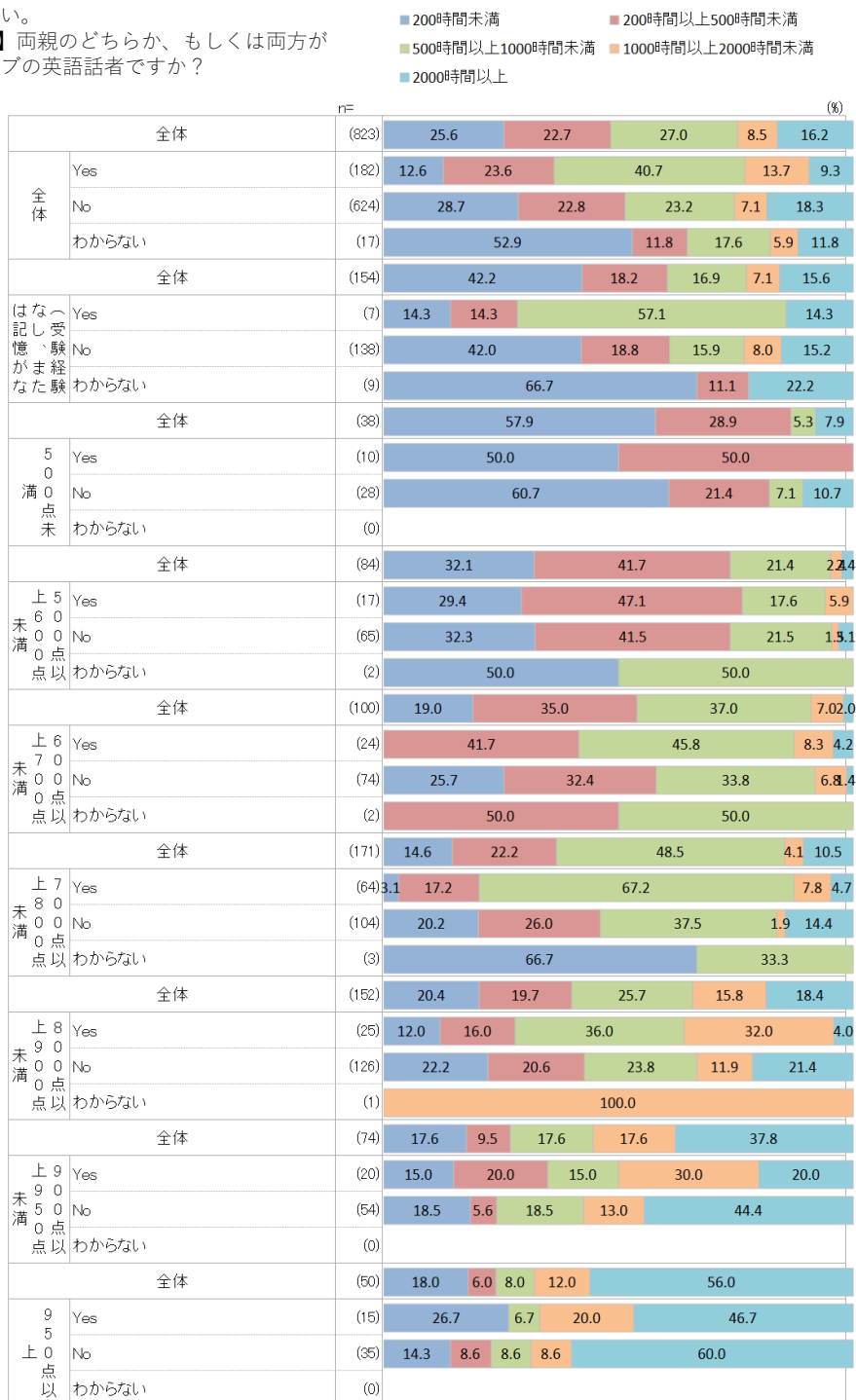
■TOEIC® Listening & Reading Test のスコアが 950 点以上、かつ両親のどちらか、もしくは両方がネイティブの英語話者ではない人の英語学習時間は 2,000 時間以上が 60%。

自宅学習、英会話スクールや留学など含めて今まで英語学習を目的として使った時間は、どれだけですか？

（中学・高校・大学・大学院などの学校での授業での英語学習時間・外資系企業での業務での英語での会話やメールの時間を除く）

【表側 1】 TOEIC® Listening & Reading Test のスコアをお持ちであればスコアについて教えてください。

【表側 2】 両親のどちらか、もしくは両方がネイティブの英語話者ですか？



■調査概要

調査方法：インターネット調査（調査委託先：マクロミル）

調査期間：2021年1月29日(金)～2021年2月2日(火)

調査対象：外資系企業に勤めるビジネスパーソンで、口頭でのコミュニケーションを英語メインで業務をしている人 823 人

■調査対象者のスクリーニング質問

Q1 現在の主な勤務先は、内資系（日系）企業または外資系企業のどちらですか？

Q2 現在の主な勤務先において、口頭でのコミュニケーションは英語と日本語のどちらがメインでしょうか？

上記の質問に対し、外資系企業を選択しかつ、英語がメインと選択した人を調査対象とし 823 人から有効な回答を得ました。

■トライオン株式会社 代表取締役 三木 雄信 コメント

新型コロナの世界的な蔓延で大きく環境が変わりつつありますが、英語を学習する必要には変わりはないようです。「TORAIZ」の受講生の多くは、Zoom などのオンラインミーティングの機会が増えて、英語でもメールなどの文字ベースのコミュニケーションより、口頭でのコミュニケーションの必要性を感じている人が増えています。

また学習方法についても新型コロナの影響で、海外の英会話学校への留学等が難しくなったことに加え、国内の従来型の英会話学校も敬遠され、代わりにオンラインでの英語学習に受講生のニーズが移りつつあります。

「TORAIZ」では、このような変化に対応し完全オンラインでの英語コーチング・プログラムを提供し、ますますグローバルな活躍ができる人材を支援して参ります。

【TORAIZ（トライズ）について】 <https://toraiz.jp/>

1 年間で 1,000 時間の学習により、日本人が最も苦手とする英語のスピーキング力を身に付けることができる学習成果コミット型の英語コーチング・プログラム。受講生一人ひとりにカスタマイズされた目標設定、その実現のための自己学習プログラムの作成、日々の学習サポート、2 週間に一度の面談での進捗チェックを、専属のコンサルタントが担当。

さらに、自己学習をアウトプットする場として、担任制ネイティブコーチとの週 3 回（1 年で計 144 回）の英会話レッスンに加え、フリートーク英会話レッスンが受け放題。インプットとアウトプットのサイクルを作ることで、日本にいながらにして、実践的なビジネス英語を身に付けることができるサービスです。

学習モチベーションの維持のためにリアルな人とのコミュニケーションを重視していることも特徴で、開校以来約 5,300 名が受講。受講生満足度 97.9%（※1）、1 年間学習継続率 91.7%（※2）という実績を持ちます。

※1：当社お客様満足度調査（2020 年 10 月実施）

※2：累計受講生（受講開始 1 ヶ月以内での退会者除く）の内、受講開始から完了までに退会していない受講生の割合（2020 年 10 月当社調べ）

【トライオン株式会社について】 <https://tryon.co.jp/>

2006 年 12 月設立。「学ぶことを通じて人と組織の可能性を開く」を経営理念として創業より一貫して「教育」を軸にした事業を提供。インターネットを通じて時間や場所に捕われずに、多くの人が様々な学習コンテンツに出会える場所を提供することを目的に、日本最大級の通信講座「脳内カレッジ」を運営。2015 年からは、ビジネスレベルで通用する英語を 1 年でマスターするコーチング英会話スクール「TORAIZ（トライズ）」を開始。

< 本件の取材に関するお問い合わせ先 >

トライオン株式会社 コミュニケーション室

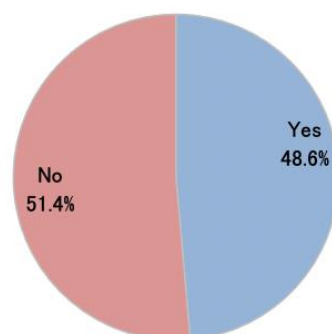
E-mail: press@tryon.co.jp

「英語学習に関するアンケート」

■質問と回答詳細

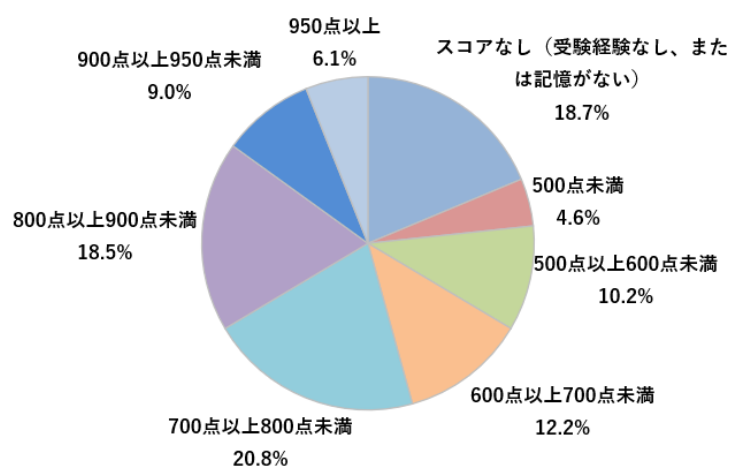
現在、働いている外資系企業におけるご自身の英語力に満足していますか？

(n=823)



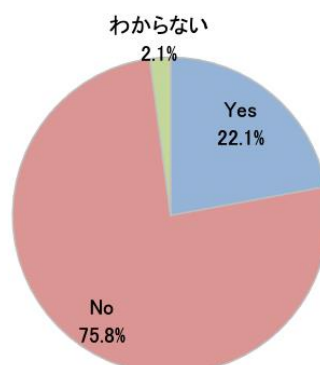
TOEIC® Listening & Reading Testのスコアをお持ちであればスコアについて教えてください。

(n=823)



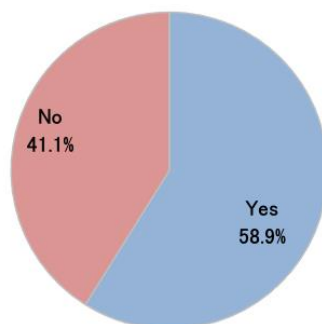
両親のどちらか、もしくは両方がネイティブの英語話者ですか？

(n=823)



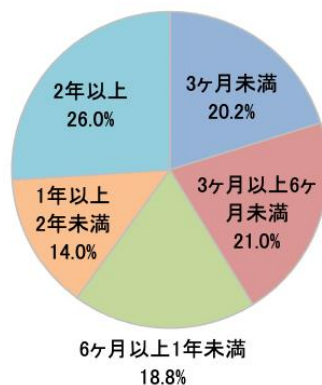
あなたは、生まれてから現在まで合計1年以上の海外での居住又は留学経験がありますか？

(n=823)



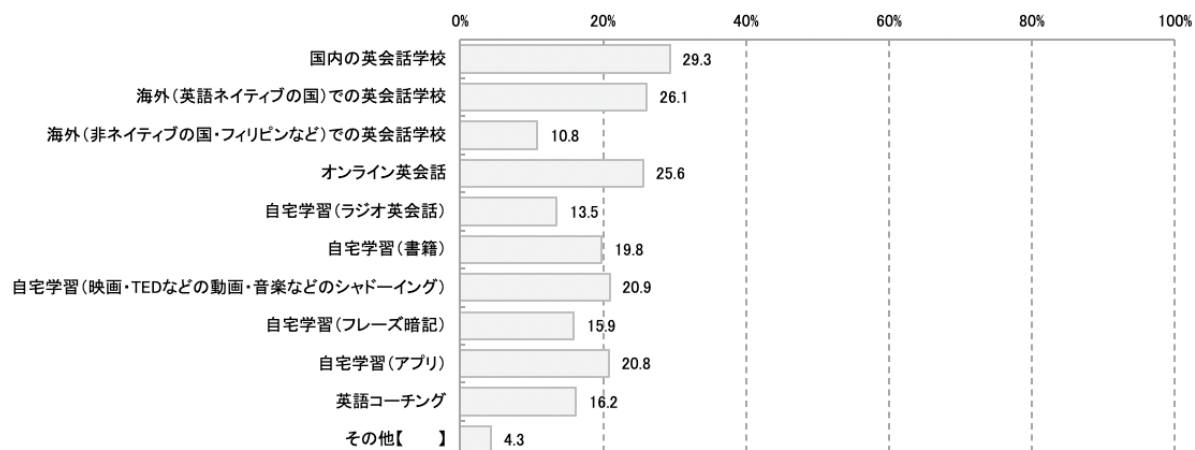
自宅学習、英会話スクールや留学など含めて今まで英語を集中して学習した期間は、どれだけですか？
(中学・高校・大学・大学院などの学校での授業での英語学習時間・外資系企業での業務での英語での会話やメールの時間を除く)

(n=823)

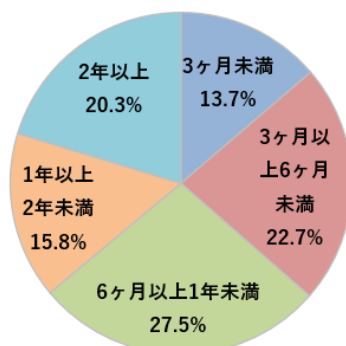


役立った英語学習方法は次のうち3つ選ぶとすればどれですか？(回答数3つまで)
※英語コーチングとは、受講生一人一人に合わせて、学習計画の設計や進捗管理を行い、英語学習をサポートする学習方法をさします。

(n=823)



現在のあなたの過去の学習経験や知識と英語を使って仕事をしている実際の経験を踏まえた上で、もしあなたが、TOEIC® Listening & Reading Testスコアは750点前後で英語がほとんど話せない知人から「外資系企業で働くためには、毎日3時間英語学習に取り組むとしてどのくらいの期間、英語学習に注力したら良いか？」と聞かれたらどのように答えますか？
(n=823)



新しい英語学習方法として英語コーチングという学習方法を知っていますか？
※英語コーチングとは、受講生一人一人に合わせて、学習計画の設計や進捗管理を行い、英語学習をサポートする学習方法をさします。

(n=823)

